

社会資本整備事業調整費（調査の部） 調査結果フォローアップ計画書

1. 調査結果フォローアップの実施時期	
平成24年度（調査完了5年後）（水産庁、農村振興局、林野庁） 平成20年度（調査完了1年後）（港湾局）	
2. 評価指標等	
1) 評価指標 ・八代海北部海域の整備後漁場における単位面積当たりのアサリ漁獲量（水産庁） ・八代海湾奥部における農地排水対策の推進（農村振興局） ・本調査によりとりまとめた海域環境の保全に資する森づくりのための基本的考え方（以下の①～②）に基づき、本調査により抽出した重点的に対策を実施すべきエリアをはじめとした氷川流域における森林の整備・保全を推進。（林野庁） ①適正な森林の整備・保全による表層土砂や枝条残材の流出防止 ②山地災害の復旧や流木等を捕捉するための施設整備 ・環境整備船「海輝」による漂流ゴミ回収日数（八代海北部海域（見直しエリア）にて回収）（港湾局） 【指標が妥当なものであるとする理由】 ・アサリは、八代海北部海域の重要種であり、漁場(干潟域)の環境改善により生産量の増大が期待できる種であるために指標とした。（水産庁） ・八代海湾奥部の干拓農地において、持続可能な営農環境を維持するためには農地排水機能を確保することが必要であることから指標とした。（農村振興局） ・1)に掲げた評価指標は、有識者等により構成された「八代海北部海域の環境保全及び改善のための基盤の一体的整備方策検討委員会（座長：滝川清教授）」において、検討された対応の方向をもとに設定しており、本調査の結果を評価する項目として適切である。（林野庁） ・1)に掲げた評価指標は、本調査の対象エリア（八代海北部海域をケーススタディとしている）における環境整備船「海輝」による漂流ゴミ回収を示す指標であり、環境整備船「海輝」による安全でかつ効率的な漂流ゴミ回収方策の検討を目的とする本調査の結果を評価する指標として適切である。（港湾局） 2) 目標年次 概ね平成24年度（調査完了5年後）を目標とする。（水産庁、農村振興局、林野庁） 概ね平成20年度（調査完了1年後）を目標とする。（港湾局） 3) 目標値 ・目標年次までに整備後漁場における単位面積当たりアサリ漁獲量を、本調査において推定した「アサリの生息に適した範囲」の漁獲量と同等の0.165kg/m²とする。（水産庁） ・目標年次までに八代海湾奥部における農地排水機能を維持確保するための対策を推進する。（農村振興局） ・上記の評価指数に掲げた各種取組の推進を目標とする。（林野庁） ・目標年次までに、環境整備船「海輝」による八代海域での定期巡航ゴミ回収のうち、約1／2回は本調査にて見直し検討したエリアでゴミ回収を行う。（港湾局） - 八代海域の定期巡航ゴミ回収予定日数（平成20年度）・・・45日 - 八代海北部海域（見直しエリア）のゴミ回収予定日数（平成20年度）・・・23日（目標値）	
3. 備 考	